

水産基盤整備事業

オホーツク管内の第4種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

平成30年度は、第8期北海道総合開発計画を踏まえ「世界に目を向けた産業の振興」強靱で持続可能な国土の形成」を重点項目とし「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。また、漁港施設の長寿命化を図るための岸壁などの補修を行います。

◆ ウトロ地区

漁業活動の安全を確保するため、防波堤の整備を推進します。

◆ サロマ湖地区

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

◆ 元稲府地区

漁業活動の安全を確保するため、防波堤の整備を推進します。

◆ 北海道第3種及び第4種漁港地区

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤の補修・調査などを行います。



サロマ湖漁港(第2湖口工区)水深4.5m航路浚渫

平成30年度 水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	ウトロ地区 (第4種ウトロ漁港)	外郭施設：島防波堤、西防波堤(改良)
	サロマ湖地区 (第4種サロマ湖漁港)	【第2湖口工区】 外郭施設：護岸(航路西) 護岸(航路東) 東防砂堤 水域施設：水深4.5m航路
	元稲府地区 (第4種元稲府漁港)	外郭施設：北防波堤
	北海道第3種及び 第4種漁港地区	【ウトロ漁港ウトロ工区】 輸送施設：道路(補修) 【ウトロ漁港知床岬工区】 係留施設：水深4.0m岸壁(補修) 【能取漁港湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水補修) 【サロマ湖漁港第1湖口工区】 外郭施設：防波堤(防水補修)